

コロナ禍超えて授業再開

新入門班は9人でスタート



新型コロナウイルスの感染拡大で学習会場が休館になりました。また会員の感染防止のために、会自らも3カ月の休会を余儀なくされましたが、6月17日、ようやく各班の授業が再開されました。

4月以来たびたび開講が延期され、新規入会者があるか心配されていた入門班も、同日市民会館で、西川会長、今西事務局長、三野幹事、そして担当の四宮愛子老師の参加のもとに、開講式を行い、9人の新規加入者がありました。

3カ月の休会で、会員の皆さんは、各自でいろいろな教材を見つけ自主学習されてきたと思います。

まだまだ予断は許されませんが、「自粛はしても委縮はするな」の言葉通り、感染防止に努めながら、各班の授業を楽しく進めていってほしいと思います。

做・吃・聊、盛大に中国料理を作る会



2月11日、枚方中国語を学ぶ会恒例の「中国料理を作る会」が市民会館で行われ、会員31人と枚方日中友好協会からの参加がありました。

午前中は、料理室で入門班の水餃子をはじめ、各班ごとの中国料理づくり、部屋いっぱいに中国料理の香が充満する中、各班自慢の料理づくりが進みました。

午後からは、会場を会議室に移し、作った料理を食べながらの歓談。当時はコロナ感染が日本にまで及ぶとは思えず、乾杯時に「加油中国！」と唱和し、その後、歌やゲームの出し物を楽しみました。

西川会長の 中国語余話⑮

「二」と「兩」

今回は、〈二〉と〈兩〉について考えてみましょう。

まず、大きな違いは、〈二〉は「序数（2番目）」で〈兩〉は「量（2つ分）」ということです。「2階に住む」の場合は、「2番目の階」なので〈二〉を、「2階建て」の場合は、「2つ分の階」なので〈兩〉を用います。

次にややこしいのは、〈兩〉は「2つ分」以外に「2～3つ」という概数もあらわすことです。

ほかに、〈二百〉、〈兩百〉は両方あるようですが、〈千/万/億〉の前は〈二〉が一般的です。でも桁数が多くなると、上から2番目は〈二〉を用いるので、〈兩億兩千万〉はだめで、〈兩億二千万〉になるようです。

最後に、クイズを一つ。〈二百五十〉ではなく、〈二百五〉を辞書で確かめてみて下さい。まったく想像もつかない意味になりますよ。